

## 〈解題〉

本講演記録は、湯浅年子博士生誕百年記念にちなみ、フランスからエレヌ・ランジュバン＝ジョリオ博士を招聘して開催された「湯浅年子メモリアル・カンファレンス」での記念講演を掲載したものである。当日仏語でなされた講演の通訳者である高野勢子氏に、本誌掲載にあたり改めて翻訳して頂いた。

講演者のエレヌ・ランジュバン＝ジョリオ博士は、ピエール・キュリーとマリー・キュリーが祖母、イレヌ・キュリーとフレデリック・ジョリオが両親、夫がポール・ランジュバンの孫のミシェル・ランジュバンという、ノーベル賞受賞者として著名な、フランス科学史を彩る家系に生まれた。自らもオルセー原子核研究所の上級研究員として、長年物理学の研究の道を歩んできた。

ここでは、本講演の内容の解題として、主にメモリアル・カンファレンス開催に関わる諸事を記しておくことにする。湯浅年子博士生誕百年記念メモリアル・カンファレンス実行委員会は、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター内に事務局を置き、フランス大使館科学技術部、日仏理工科会、日仏工業技術会、お茶の水女子大学理学部の後援、お茶の水学術事業会、みすず書房の協賛のもとに2009年9月26日に開催された。

このカンファレンスの中心である本講演は、「Toshiko Yuasa, une chercheuse japonaise dans la tradition des Curie」と題して行われ、フランスにおける年子とキュリー家の研究上及び私的な交流の様子を語り、湯浅年子博士生誕百年を記念するにふさわしいものであった。湯浅年子博士と交流のあった、研究者、友人、教え子の方々のリレートークが、「湯浅年子との記憶」を蘇生させる力を示したこと、「湯浅年子記念特別研究員奨学金」の受賞者が集い、フランスでの研究生活の糧を語ったこと、本学の素粒子研究室の現役院生たちが、湯浅年子博士の生涯をスライドで辿り、語る言葉の中に「受け継ぐ力」を感じることが出来たこと、これらの事々がすべて感慨深かった。

微力ながら、湯浅年子博士のエネルギーの波動を受けて、本ジェンダー研究センターも、湯浅年子博士の資料を寄託された女性文化資料館の時代から、これまで多くの方の協力のもと、資料整理と公開に努め、研究に寄与できた。なお、エレヌ・ランジュバン＝ジョリオ博士が持参なさった写真や資料は、マリー・キュリー財団とお茶の水女子大学の湯浅年子博士資料ファイルに所蔵されているものである。

湯浅年子博士の功績を国内外に伝える活動に関しては、坂井光夫東京大学名誉教授と湯浅年子博士に関する多くの著作を著した山崎美和恵埼玉大学名誉教授の長年にわたるご尽力に対し、特に謝意を表する次第である。また湯浅年子博士の公開目録の刊行のほか、本学HP上での映像資料のウェブ公開も始めた。近年には、日本の先駆的女性科学者への関心が高まり、2009年2月には国立科学博物館の常設展示「日本の科学者・技術者の肖像」に湯浅年子博士のレリーフも刻まれた。湯浅年子関係著作、文献を以下に記したので、参照されたい。

### 湯浅年子博士主要著作および参考図書

#### A 湯浅年子著書

- A 1 『科学への道』（日本学芸社 1947、増補版1948）
- A 2 『黒葡萄一むすか』（古今書院 1948）
- A 3 『フランスに思ふ—もん・かいえ・あんてい—む』（月曜書房 1948）

- A 4 『パリ随想』(弘文社アテネ文庫 1950)
- A 5 『放射性同位元素とその生物学医学への応用』(培風館 1951、改訂版 1955)
- A 6 『パリ随想—ら・みぜーる・ど・りゅっくす』(みすず書房 1973)
- A 7 『続パリ随想—る・れいよん・ぐえーる』(みすず書房 1977)
- A 8 『パリ随想3—むすか・のわーる』(みすず書房 1980)
- B 湯浅年子訳書
  - B 1 マリー・キュリー著 『ピエール・キュリー傳』(潮流社 1948)
  - B 2 ジョリオ=キュリー 『ジョリオ=キュリー遺稿集』(法政大学出版局 1961).
  - B 3 ピエール・ビカル著 『F・ジョリオ=キュリー』(河出書房新社 1970)
- C 湯浅年子寄稿図書
  - C 1 「“離脱”の詩」(『若き日の素描』学生書房 1948, A8に再録)
  - C 2 「私の選んだ道」(『娘の頃』宝文館 1953, E2に再録)
  - C 3 「[時]はその蔭をとどめる？」(『科学の饗宴』みすず書房 1979)
- D 湯浅年子主要関連書籍
  - E 1 『湯浅年子 | パリに生きて』(山崎美和恵編、みすず書房 1995)
  - E 2 『パリに生きた科学者 湯浅年子』《岩波ジュニア新書》(山崎美和恵著、岩波書店 2002)
  - E 3 『湯浅年子公開資料目録』(お茶の水女子大学ジェンダー研究センター編・刊 2009)
  - E 4 『湯浅年子の肖像』(山崎美和恵編著、梧桐書院 2009)

(館かおる 本学ジェンダー研究センター教授)